

日本共産党 目黒区議会議員

こんにちは

いも かわ

芋川 ゆうき 区政報告

住所：目黒区南3丁目在住 TEL：090-4206-2048

ツイッター・facebook公開中！お問い合わせ☒ <imokawa007@gmail.com>

いも お芋の「芋」に3本「川」
100%「ゆうき」

54号

進まない！

めぐろのPCR検査

東山特養ホームでのクラスター
私立認可園での感染3園
福祉施設 など

出ているのに **なぜ** 検査まで遠いのか。。

世田谷区が踏み込んだ PCR検査「世田谷モデル」 誰でも・いつでも・何度でも

近隣区である世田谷区（人口約94万人）が現在、日に300件程度のPCR検査を10倍にもなる一日に2000～3000件を増やす体制整備の検討を始めました。「誰でも、いつでも、何度でも」検査できる「世田谷モデル」として早期発見や治療につなげます。

一方目黒区は人口約28万人に対し、PCR検査は一日100件程度しかできません。

安心してPCR検査を受けたい！ だが、現状は検査が受けられない

区内の状況はどうか。新宿にある介護施設で働く目黒区在住の女性は、職場でクラスターが発生し、発熱を繰り返し、検査を訴えるも、非正規だからと、新宿区の保健所では検査を受けさせてもらえなかった。目黒区保健所に何度も訴え、救急搬送でようやく陽性が判明したという事例がありました。また、目黒区内の大型スーパーのレジで働く女性が発熱し、味覚障害が出た際、かかりつけ医から、コロナの疑いがあるので2週間の自宅待機と言われ、保健所に相談するも、検査はしてもらえなかったという声もありました。いずれの家族からも不安で仕方なかったという切実な声です。

めぐろ区の保健衛生の 後退の流れと背景

保健所は、新型コロナから区民の命を守るための憲法25条に定められた公衆衛生の最前線です。しかし、国は1994年に保健所法を地域保護法に置き換え、都内では71か所あった保健所は31か所へと削減されました。目黒区でも、国の方針のもと、1997年に碑文谷保健所が碑文谷保健センターに再編されました。予算も減らされ、2008年から2018年の直近10年の目黒区の保健所費は9億2千万円余から7億5千万円余に、およそ1億7千万円余も削減されました。

めぐろ区＝区長の姿勢の違い

目黒区内でのPCR検査対策は、4月30日からPCR検査センターが設置されました。当時は週に2日、1回2時間程度の稼働で一日たったの8件の検査を実施するというものでした。その後、目黒区第二次補正予算にて、区内連携病院5か所とPCR検査センターの検査数の拡充にて一日124件まで対応できると拡充させてきました。ですが、6月30日をもって目黒区のPCR検査センターは一旦終了しています。現在は区内病院の5か所の内、1か所の稼働になっています。PCR検査は日に40件程度の規模です。

目黒区は4月に東山特養で10名以上のクラスターが発生した経緯もあり、対応の遅さが指摘されています。加えて7月には私立認可園3園に感染者が出たうえ、1園は16名まで感染者が増え、他2園は濃厚接触者がいないという理由で休園はしていません。心配です。

日本共産党目黒区議団は7月下旬に緊急要望を区に提出しました。区民が安心して生活ができるよう、PCR検査の抜本的強化に向けて活動していきます。（要望項目はウラ面上段）

日本共産党目黒区議団の緊急要望書提出 9月議会・第三次補正予算に向けて

新型コロナの感染が広がっています。都内では、接待をとまなう飲食業にとどまらず保育園や学校、福祉施設などにもおよび、都は感染拡大の警戒レベルを最高段階に引き上げました。区内でも、区立障害者施設や私立保育園で感染が明らかになりました。感染拡大の防止と、区民の暮らしを支えることが喫緊の課題となっており、以下、緊急要望を提出します。

- 1、医療・介護、障害福祉、保育、教育関係者については、抗原検査やPCR検査などを行うこと。
- 2、福祉施設などでコロナ感染が発生した場合には、区と事業者の連携によって、濃厚接触者に制限することなく、希望する利用者、職員にPCR検査を行うこと。
- 3、介護事業者、障害福祉サービス事業者などのコロナによる影響を調査し、事業者への直接支援を再度行うこと。
- 4、国は、デイサービスやショートステイの介護報酬を引き上げました。その結果、サービス内容が変わらないのに、突然利用料だけが高くなる事態となっています。利用料が増える部分については、自治体で補填し国に対し負担増を止めるよう求めること。
- 5、災害避難所の3密を防ぐために、パーティションと段ボールベッドの備蓄を行うこと。
- 6、コロナ禍の下、各施設の利用人数が半分に制限されています。従来的人数を確保するためには、より広い場所を利用しなければならず、施設使用料の負担が区民にかかっています。利用人数が制限されている間、施設使用料の減額を行うこと。
- 7、コロナ禍の下で、不安で乳幼児の予防接種を受けていない保護者がいることが予想されます。小児科学会は、予防接種の重要性を訴えています。接種を受けていない保護者に対して、予防接種期間が延長されたことを知らせ、接種するよう周知すること。

以上

要望書項目

段ボールベッドの配備がされます

要望書でも取り上げてきました「段ボールベッド」などが配備されます。

配備品

- ・避難所用屋内テント 計120張
- ・段ボールベッド 計60台

※すでに第二次補正の際

- ・マスク
- ・手指消毒剤
- ・非接触型体温計など は配備を進めているところです。

